

前照灯試験機の新光源対応について

ご使用のヘッドライトテストは 新光源（HID・LED）に対応していますか？

（新光源に対応した最新のヘッドライトテストでより正確な車検を行きましょう！）

自動車の安全性の向上や新技術の採用に伴い、ヘッドランプも日々進化しています。様々な光源のランプが混在する現在、**旧タイプのヘッドライトテストでは新光源ヘッドランプの正しい光度を測定できないケースがあります**。車検品質を保つためにも、新光源に対応した最新のテストでのより正確な車検を行きましょう！

旧タイプのセンサー方式ヘッドライトテストでは、光の色の違いにより光度が正確に感知できません！

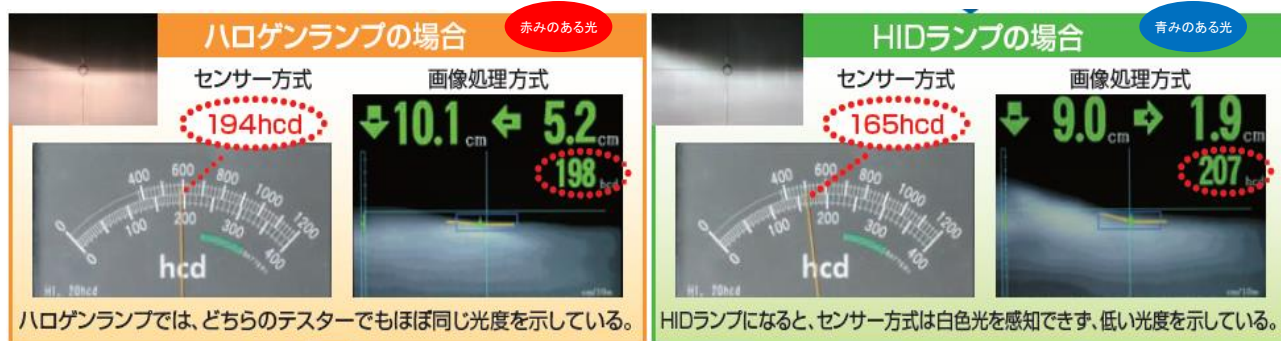
「まぶしいくらい明るいのにテストでは光度不足」「何度調整しても光度が足りない」

このような状態のヘッドランプに心当たりはありませんか？

ヘッドランプの光は白っぽく見えても実際には赤みや青みっぽい色がついています。従来ヘッドランプの主流だった白熱ランプやハロゲンランプはオレンジに近い**赤みのある光**をしていたのに対し、近年主流になっている新光源のHID・LEDランプは白色光と呼ばれる**青みのある光**をしています。そのため、従来主流だった**赤みのある光**を重視して設計された旧タイプのヘッドライトテストでは、**青みのある光**をうまく感知できず、下図のように光度が上がらず正しい測定がしづらい場合があります。

対策1 買い替え 新光源（HID・LED）ヘッドランプに対応した最新のテストへの買い替えを推奨します。

■従来の赤みのある光（ハロゲン）と近年の青みのある光（HID）におけるテスト別の光度比較（例）



※ すれ違い前照灯の光度測定において、旧タイプのヘッドライトテストでは光度不足になる場合があります。

対策2 改造対応 該当する旧タイプヘッドライトテストに「特例改造」を適用（最新のテストと同等に改造）

旧タイプヘッドライトテストの新光源対応への改造については、国土交通省より2013年6月に特例改造の取り扱いに関する通達が発出され、これに基づき3年間実施してきましたが、未だ対応されていないテストがあることから、本年7月に国土交通省より、さらに**1年間(2017年7月7日まで)**はパルス点灯式LED前照灯に係わる改造も含め、当該取り扱いを継続することが認められました。この期間内に是非**ご使用のヘッドライトテストをご確認頂き、旧タイプの場合は改造を行い、最新のテストと同等にすることを勧めます**。

◎ 特例改造は書面による審査のみとし、迅速に整備事業者へ引き渡すことが目的です。（改造後短期間で使用可能）

新点灯式ランプ対応 パルス点灯式LED前照灯の対応型ヘッドライトテストへの改造も「特例改造」を適用

近年、LED前照灯に新たな点灯方式が開発され、欧州車に装着され始めています。このLED前照灯は、一定周波数で高速点滅させることにより常時点灯しているように見える点灯方式です。この点灯方式の前照灯をテストで測定した時に光度指示値が安定しない(ばらつく)などの影響を及ぼす場合があります。この対応についても特例改造の措置で解消することができます。

特例改造の適用及び旧タイプヘッドライトテストの型式に関する詳細につきましては、購入されたヘッドライトテストの型式名及び製造番号をご確認のうえ、販売会社の支店又は営業所等にお問い合わせ下さい。



一般社団法人日本自動車機械工具協会